

信仰の先輩に倣おう！

万代 栄嗣



先 週の日曜日、10月14日の未明、かねてより療養中であった高知西福音教会の久保内政春牧師が天に召されました。7年前に脳内出血で倒れられ、以後、ご家族や教会の兄弟姉妹のお祈りと援助の中、ご家庭で静かに時間を過ごされつつ、礼拝では毎回、代表祈禱をされ…、77歳のご生涯を閉じられたのでした。

政春先生と私たちの教会とのご縁は、実に50年を超えるものです。瀬戸内海の島々を巡って福音を語る伝道船に乗ってのご奉仕の後、関西の神学校に学ぼう、という頃から、故・万代恒雄牧師との交わりを持ち、しばしば松山福音センターに顔を出してくださるようになりました。高知の久保内和子姉と結婚され、高知西福音教会の牧師としてのお働きを始めてからは、事ある度に松山の講壇でもメッセージを取り次いでくださいました。特に、恒雄牧師の1~2か月にも及ぶ、当時の海外伝道の折には、ずっと松山に滞在して、私たちを支えてくださいました。1987年のアンデレ宣教神学院の創設以来、2011年の春までずっと教授として神学生たちを指導していただきましたし、“日本福音宣教会”の教団立ち上げの際には、中心的な役割を果たしていただきました。

政春先生と言え、決して器用な方ではなかったと思います。しかし、裏表のない実直な人柄で、誠実に主キリストに仕え続けられた献身者であると同時に、常に御言葉にこだわり続けた説教者でした。そして、何よりも誰に対しても細やかな親しさを示された、愛と配慮の牧会者でした。

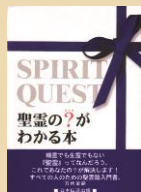
私の心の中には、小学生の頃、神学生で坊主頭の政春先生がしばしば聖書クイズを出して下さった記憶があります。大学生になってすぐの18歳の夏休み、ギターを抱えて政春先生と出かけた台湾伝道が、私の第一回の海外伝道でした。高知に訪れた際は、いつも豪快にもてなして下さり、松山に来られる時もいつもカツオのタタキや名産の土佐文旦や新高梨を手土産にお越しくさせていただきました。一見、怖そうに見える政春先生なのですが、実は、本当に温かく優しい人柄で、多くの人々と寄り添い、励まし続けておられました。

去る9月30日(日)、高知西福音教会で、台風24号の接近に伴い風雨が強まる中、初代牧師・久保内政吉師の召天20周年の記念会となる礼拝を持ち、同時に久保内宣世先生を主任牧師とし、政春先生を名誉牧師とする、教会の新たな体制をしっかりと整え直してから、わずか2週間後のことでした。すべてが、主の御手の中にあつたことと受けとめています。皆様のお祈りに感謝いたします。政春先生の信仰に倣いましょう。

rcommend

おすすめ情報

おすすめ



聖霊の？がわかる本

■万代栄嗣著
ウィズダム出版(1200円)

聖霊について分かりやすく解説。
また、聖霊がどのように働かれるかが、具体的に理解できます。

プレゼント



聖歌コレクション vol.1

— かいぬしなるまよ —

■まんだいえいじ：歌
日比野則彦&AYAKI：演奏
GEMImpact (1200円)

日本語での聖歌を初収録。味わい深い聖歌の世界をJAZZYな極上のサウンドでお届けします。全7曲